

あと少し



史上最速で梅雨が明け、猛暑が続く中の深夜のTV観戦はキツイかったが、終わってしまおうと何やら寂しい。

実は相当のサッカー狂で、古くは敗れはしたものの、木村和のフリーキックで盛り上がった韓国との国立競技場での対戦では前日に準備した日の丸小旗を入り口ゲートで配り、TV観戦したドーハでは試合終了しても長い時間呆然とし、オリンピック出場を掛けたクアラルンプールにおいては試合前の君が代ミを聴いて心からシビレ、ジヨホールでは日本ベントの裏で生観戦し、試合終了と同時に携帯電話をかけている中に啞然とし、カズと北沢の落選には心から落ち込んだりしたものだ（運良く、マレーシア滞在中でした）。

確かに、今回の日本は予想を覆す結果を残した。

ただ、何と言うか、勝ち負けを決めるスポーツにおいて、負けを美談にすり替える風潮はどうも肌に合わない。

当事者はそんなセンチメンタルなんかはなく、冷静に自分達の位置を認識しようとしているのに、マスコミはここぞとばかりに美談をかき立てるのが、好きになれない。

一方、10秒を切った人がその後の桐生一人にも拘わらず、リレーチームは既に世界で2位になっている。

そういった意味では、日本のチーム力は世界に誇れる調和力と言っても過言ではないと思う。

ただサッカーの場合、90分と言う時間の積み上げとその多様性から、メンタル・技術・戦略を培う歴史、時間を要するよう思う。

さて、チームセルドロンは如何か？

全くの素人集団が立ち上げたこの事業も既に5年。

今や多くのユーザーとしてゼネコン、造園、ハウスメーカー、生コン各社、機械メーカー古紙関連業者、販売代理店各社、そして京都大学。。。

驚くほど多くの方々にご支援頂いてここまで来ており、本人としては感謝の前に驚きが来ているのが実感である。

ありがとうございます。

少しづつではあるが、着実に知名度は上がってきているのを肌で感じている。

今回のような洪水災害においては多くの皆様よりお問合せを頂いている。

連日の猛暑が続いており被災された方々には厳しい毎日が続いていることと思うが、日の当たらない縁の下や畳の下には汚泥のままに残っており、これからの復旧作業では活躍する場面も多かろうと思っている。

また、残余生コンの処理材としては、各地でいろいろな動きが出てきている。

各自自治体の判断に委ねられている部分があり、一斉に全部とはいかないが、徐々にではあるが標準化される地域も出てきている。

この猛暑を切り抜けた後、セルドロンは今よりもっと知名度をあげていることであろう。あと少し、あと少しと思っている。

三重県エリアでは4月からポンプ戻し中止

三重県では下記案内があり現場で処理を進めております。

1. アジテータ車から排出された生コンクリート等について

この項目に該当するものとして次のものが挙げられます。

- ・ポンプ打設時に用いる先行モルタル
- ・ポンプ車に残ったコンクリート

以上の汚泥の処理に関する必要事項は、工組の案内文に記載されている通りです。

弊協同組合は、お客様の産廃処理手続きを軽減できるように汚泥（生コンクリート等）の運搬についてお引受けすることを検討いたしてまいりましたが、近隣に汚泥処理の可能な処分場がなく汚泥処理が困難な状況にあります。

従いまして、上記の汚泥はもとよりポンプ車の洗浄後の汚水も含めて、アジテータ車でお引取りさせていただくことができませんのでご了承いただきますようお願いいたします。

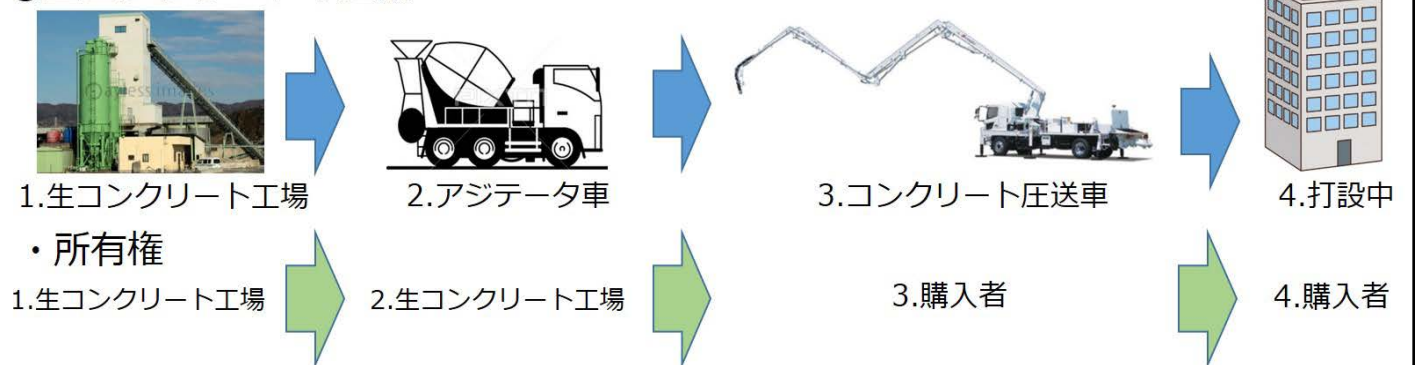
2. アジテータ車から排出されていない生コンクリート等について

アジテータ車から全く排出されていない生コンクリート（戻りコン）

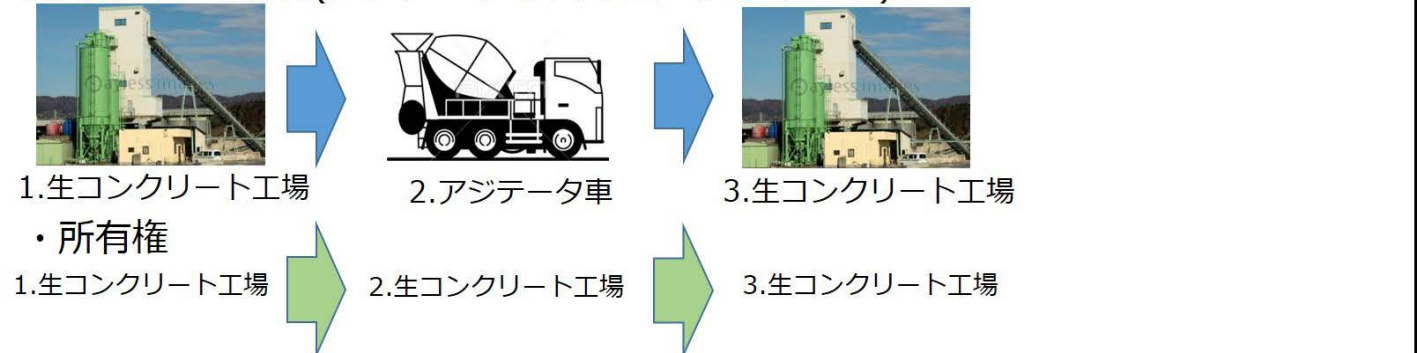
及びアジテータ車から一部が排出され残った生コンクリート（残コン）につきましては、お客様から不要との意思表示がされた場合、生コン出荷工場が持ち帰り適切に処分させていただきます。

三重県の生コンクリートの運搬と所有権について図解すると

① 生コンクリートの運搬



② 戻りコンの流れ(アジテータ車内の生コンクリート)



③ 残コンの運搬(アジテータ車から排出した生コンクリート)



※ポンプ戻した残コン(産業廃棄物)は、産業廃棄物収集運搬許可のないアジテータ車(生コンクリート工場)が持ち帰る(運搬する)ことは法令違反となります。違反した場合は、生コンプラントだけでなく、残コンを排出した建設現場の責任者、元請建設会社にも罰則が適用されます。

この地域では、上記のこともあり現場で処理することを決めている。違法行為だけではなく、生コンクリート工場の残コン処理費用圧縮できるため、当然の考え方でもある。